

令和4年度 第1回立山町総合教育会議 議事録

1. 開催日時 令和4年11月25日(金) 15時30分～16時20分
2. 開催場所 立山町役場4階 全員委員会室
3. 参加者 町長 舟橋貴之
教育委員会 教育長 杉田孝志
委員 久保田真砂美 向雅己 金川良子 堀田充
4. 事務局 企画政策課 山田真樹子 竹腰三佳 林達也
教育課 青木正博 田中幸生 坂田聖
5. 傍聴人 なし

協議事項1

●学力向上に関する意見交換

- ・全国学力調査結果の資料を基に、各教育委員との意見交換を行った。

◇町長の発言

- ・学力テストの結果を公表するかどうかということにつきましては、教育委員会としては公表しないこととされていますが、今回、学力テストの結果を教育委員さんにお配りしております。小学校の平均点は県平均を上回るが、中学校はそうではなく、どのようにしたら学力を向上させることができるのか教育委員さんのご意見を伺いたい。

◇教育委員の発言

- ・「学校ですること」、「家庭ですること」、「地域ですること」の3つが大切である。
- ・学力を全体的に上げていくためには、どの子たちに指導をしっかりとすることが必要で何をすればよいのかを学校は考えなければならない。
- ・一人一台所有しているタブレットを活用したトレーニングが必要ではないか。
- ・小学校で基礎学力の土台作り「覚えよう」「見つけよう」「想像しよう」を身に着けていれば、ある程度中学校の落ち込みは減るのではないか。
- ・自ら「やりたい」「したい」と意欲を持ち、まずは「やってみること」が大事である。
- ・本年から実施している「読解力の向上」の取り組みに期待している。
- ・小学校は学校から宿題が与えられ、家で宿題をやる習慣が身につけていたが、中学校では自主学習が中心であり、勉強の仕方がわからないのではないか。
- ・放課後学習教室、土曜学習教室についても、自分で行きたいと思わないと学力は身につかない。
- ・進路や受験を目の前にして、勉強しなければならないが、どうしたらよいかわからない子どもたちが増え、意欲が少しずつ薄れてきているのではないか。

◇教育長の発言

- ・放課後学習教室については、本年度は試験1週間前に限定したところ30名程度の参加があり、土曜学習教室にも、60数名登録いただいている。
- ・この取り組みが定着し、学校授業以外の学びが増強されていけばと思っている。
- ・今年度夏休み期間を短縮したが、「学習指導を終えました」ではなく、子どもたちに学習内容を定着させるまで指導してほしいという願いを持っているからである。

協議事項 2

●学校施設等のカーボンニュートラル対応について

- ・事務局より学校施設等のカーボンニュートラル対応について概要を説明。

■学校施設等のカーボンニュートラル対応について 【説明者：事務局】

- ・燃料費・電気料金の値上げが続いており、学校施設等の維持管理費を削減するため、2つの事業を予定している。
- ・1つ目は、蛍光灯・白熱灯・H I DをL E D化に省エネ改修を行うものであり、令和5年度につきましては、公民館及び小中学校の省エネ改修を予定している。
- ・2つ目は、町立小学校施設に耐熱ガラスフィルム貼付を行うものであり、耐熱ガラスフィルムは室内の熱を逃がさず室内の温かさを保つもので、冬場の室内の環境改善が期待でき、節電・省エネ対策に効果が見込まれる。今後、一部の小学校に貼り付ける工事を行うことを予定している。

◇町長の発言

- ・北陸電力は来年4月以降、法人の電気料金の大幅値上げをすとしており、最も電気を使用する小中学校や公民館について、補助金を活用して省エネ改修に取り組んでまいりたい。

[閉会時刻 16時20分]